

であるが、然しそれも主たるものは東京神奈川地方の加盟組合と名古屋の金属、木材等に止まり（東京地方の中心関東金属の如きは下の工場組織は殆んど賛成である）京都、大阪、神戸の主力隊は擧げて賛成である。

三、全国農民組合に於ては鳥根、三重、鳥取が反対してゐるが、その中にも勿論強い賛成論があり漸次強力になりつゝある。以上の三縣を除いては全国農民組合は實質上擧つて賛成である。

四、之れを要するに實質的に労働者農民の組織を持つ者及び大衆的基礎の上に事實上活動してゐる者は殆んど賛成であり反対者は、知識階級が多く、實質上闘争せず大衆をもたない者が多い状態である。

五、本部に於て現在（十月十三日）集めて居る全国各地の情勢は大體次の如くである。

北海道 中心地小樽に於てはその包括的勢力たる全小樽労働組合が支持を決議し、函館、札幌、旭川、俱知安、空知、釧路等各地に續々組織の確立が急がれつゝあり、全農北聯は未だ聲明を發して居ないが實質上支持で固まつてゐる。

青森 二二三の分子を除いては殆んど全縣一致賛成で固まり、既に青森、西郡その他に支部が確立されてゐる。

岩手 岩手無産黨は實質上参加を希望してゐるが、地方政黨協議會に引きづられて態度不鮮明であるが、最も戰闘的な

山田地方並に海岸地方は積極的参加の態度を示してゐる。宮城 未だ適確な情勢を知り得ない。

福島 各地労働同盟の名を以て反対聲明書を出したが東白一般労働を除いては實質上の組織はない。

秋田 未だ一般的に聲明は出されないが全農舊日農系は大體賛成である。

山形 未だ適確な情勢を知り得ない。

茨城 全農舊日農系を中心として實質上参加に決定してゐる千葉 全農は正式に支持参加を決議したが反対者も存在してゐる。

栃木 舊勢力は一般に参加に決定。

群馬 全農舊日農系實質上参加に決定。

埼玉 既に準備會を組織し電燈値下運動を巻き起しつゝある新潟 舊全農系を除き、全農は全縣一致支持参加を決定し、既に各地に準備會が組織されつゝある。朝鮮労働も賛成。

長野 前信地方に反対があるが、全縣一般に賛成であり、全農縣聯は参加を決議、聲明を發した。

山梨 各地に協議會を開き、支持参加決定。

東京 反対聲明書は色々な團體の名によつて澤山出された。例は労働同盟全國委員會、無産者新聞、國際文化、學生聯盟、産業労働調査所、戦旗各支部、労働青年同盟、全國農民組合關東地方協議會、労働組合全國協議會常任委員會及

三重 全農、南勢一般労働が反対を聲明した。多くの賛成者はあるが積極的に出て居ない。

奈良 大和統一黨を除き生駒郡を中心に賛成である。

京都 染物労働、陶磁器工、全農、水平社、等擧つて賛成であり、反対もあるが問題にならぬ。

大阪 大阪金属、木材、全大阪労働、關西革新、大阪足袋等を中心に、實質上は全農、市電自助會、關西電氣、等も賛成であり既に大阪地方準備會、堺、泉州支部の確立を見、全く全大阪を擧げて支持の聲に蔽はれてゐる状態である。

兵庫 播磨合同その他二三の反対者はあるが、神戸金属その他組織的労働者の壓倒的支持を以て既に神戸に支部確立、鳥取 全農として反対的態度がとられてゐるが多數の賛成論者が含まれてゐる。

鳥根 全農として反対を聲明したが西部地方には有力な賛成派がある。

び所屬各組合、等々。だが労働者農民の大衆的基礎を持つものは少い。協議會の中でも例へば、關東金属の京橋方面の工場分會は賛成で準備會京橋支部を組織してゐるし、又、關金北都支部および東京合同の中堅である北豊島支部の如きも擧つて賛成してゐる。一方、舊市電自治會、自由労働自治會市従の殆んど全部、借家人同盟、王子電氣、城東電車従業員、等實質上大衆的な組織ある多くの労働者によつて支持され、既に東京地方準備會、及び北部、城西、京橋、江東、荏原の諸支部が確立されてゐる。

神奈川 初め反対論が壓倒的に見えたが、漸次、關東金属支部の大多數、市電従業員等の多くの労働者の支持集り、横濱、川崎に準備會が確立せられてゐる。

静岡 既に静岡に準備會確立せられ、全農静岡も近日参加決定の情勢にある。

愛知 名古屋金属、名古屋木材等は反対であるが、港灣労働、麻裏工、借家人同盟等を以て既に準備會を確立して前記組合と共同して選挙を戦つてゐる。

富山 初め反対論に殆んど固まつてゐたが、慎重審議の上、現在では殆んど支持で固まり、高岡には支部が確立されて選挙を戦つてゐる。

石川 既に金澤に支部が確立されてゐる。

福井 未だ正式の決定はないが實質上賛成である。